

配信日：2012 年 2 月 2 日

FAO 日本事務所	http://www.fao.or.jp/
世界食料デーについてはこちら	http://www.fao.or.jp/detail/article/572.html/
ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパン	http://zerohunger-jp.org/
同ネットワーク 公式ツイッター	zerohunger_jp

【目次】

1. ジョゼ・グラジアーノ・ダ・シルバ FAO 事務局長のオピニオン記事
 2. 国際協同組合年について
 3. イベント情報 (2/11 よこはま国際フォーラム参加)
 4. FAO 本部の広報担当職員の連載について
 5. プレスリリース
 6. 日本語出版物のお知らせ
 7. FAO 本部発信情報の紹介
 8. テレフード募金へのご協力のお願い
-

1. ジョゼ・グラジアーノ・ダ・シルバ FAO 事務局長のオピニオン記事

2012 年 1 月 1 日に FAO 事務局長に就任した、ジョゼ・グラジアーノ・ダ・シルバのオピニオン記事が発表されました。以下、長文ですがご紹介します。

「飢餓は待てない」

年末に過去 12 ヶ月の成功と失敗について振り返り、この先 12 ヶ月のことを考えるという伝統的な行為は、今年、私にとって特別な重要性を持つ。国連食糧農業機関の事務局長に選出されたことで、去年の 6 月は個人的なターニングポイントとなった。1 月 1 日にその任務に取りかかるが、私の仕事はその日をもうひとつのターニングポイントとする－飢餓との闘いにおける潮流を変えることである。

今日、約 10 億人の人々が今も栄養不足にあり、多くの国々が 2015 年までに飢餓と極度の貧困の中で生きる人々の割合を半減させるという一番目のミレニアム開発目標を達成するには程遠い。

2012 年の私の最大の優先事項は、その目的に向けた新たな後押しをすることであるが、同時に、それを越えて、この惑星からの最終的で完全な飢餓の撲滅に目を向けることである。明らかに、これは FAO が単独で成し遂げられることではない。新たな世界的な動員、世界中の意思決定者の支援、国連ファミリー全体及びその他開発パートナーによる協調的努力が必要である。

私は、直ちに、20 から 30 カ国の世界の最貧困国と一連の協議を開始し、それらの国々が自国の包括的食料安全保障戦略を打ち出すのに必要となる資源の動員を支援するつもりである。既成の解答は存在しないが、各国はゼロから始める必要もない。FAO や開発途上国の様々なところに、これらの国々が自国の問題に対する解答を見つけるために活用できる世界の豊富な経験があるからである。

自らの財政及び人的資源を最大限に利用し、他のパートナーと協調して取り組むFAOは、これらの国々が実現可能な計画を策定し、それに資金提供できるように支援するための準備はできている。ひとつの課題は、持続可能な農業や女性の能力向上などの多くの分野でFAOが有し、発展させてきた知識と経験を活用することである。

2011年に、FAOは現在の農業システムによって引き起こされるいかなる環境ダメージや大規模な資源の枯渇もなしに、生産を増大させることのできるよりグリーンな農業革命になるものを打ち出した。我々はそれを「Save and Grow（節約して栽培する）」と呼んでいる。

この新たなモデルは、作物栽培への自然の貢献—土壌有機物から水流規制まで—を活かして天然資源を保全・強化し、特定の条件や場所に適応させることができる。57の低所得国での現場試行では、単収を平均80%増大させた。我々は開発途上国が今後15年かけてそれを段階的に採用できるように支援する。

これは、食料不安を抱える国がより持続可能な経済成長を達成するのを支援するに当たり、重要な役割を担うものであり、夏の国連持続可能な開発会議「リオ+20」においても焦点となる課題である。気候変動と食料安全保障は、収斂する議題を有している。両者は、より持続可能な生産及び消費形態のための重要な変化を求めている。今、我々はこれらの潜在的な相乗効果を探求する機会を持ち合わせているのである。

国連女性機関及び他の多くのパートナーと共に、FAOも農業における女性の能力向上を提唱している。

現在、例えば、女性が管理する土地での単収は、男性が管理するものより少ない。女性が男性よりも農業者として劣るからではなく、女性が単に土地や技術、投入財といった資源に同等のアクセスを有していないからである。飢餓を終わらせるための我々の取り組みに女性の十分な参加が得られれば、決定的な違いがもたらされるだろう。

飢餓との闘いで最初のスタートを切るに当たり、我々は斬新で革新的な解決策を探さなければならない。例えば、資金移転プログラムや生産のインセンティブを通じて農村経済に資源を投入することは、地域の成長を刺激するのに即時のプラス効果をもたらす。雇用と所得が創出され、小規模農家のための市場がつくられ、地域の新鮮で安全かつ栄養価の高い食料の供給が増大する。

先の道のりは長いですが、革新的になり、新たな解答を見つけるべき時である。我々の仕事は不安定な経済見通しによってより困難になるだろうが、斬新なアプローチと新たな努力、そして食料安全保障の世界的ガバナンスを強化する措置により、我々は完全なる飢餓の撲滅のために必要なモメンタムを構築することができるかと確信している。

原文（英語）はこちら

http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/FAODG/docs/OpEd_Hunger_cant_wait_en.doc

2. 国際協同組合年について

2012年は国連の定めた「国際協同組合年」です。協同組合年は、貧困削減・雇用創出・社会的統合に大きく貢献しています。農村では、小規模農家が契約栽培の交渉をし、土地の権利を確保し、また、より良い市場機会を得るうえで、農業協同組合が重要な役割を果たしています。FAOは、他の国連機関やパートナーとともに、協同組合の貢献に対する認識を高め、その設立と成長を促進するような政策を策定・実施するよう各国政府や関係機関に働きかけるための取り組みを行っています。

国際協同組合年全国実行委員会(日本語)

<http://www.iyc2012japan.coop/>

国際協同組合年公式ウェブサイト(英語)

<http://www.2012.coop/>

3. イベント情報

よこはま国際フォーラム 2012 参加予定(2月11日祝・土 12:00~12:50)
～松田祐吾 FAO 日本事務所副代表が「食料価格高騰の原因と FAO の取り組み」について話します～

JICA 横浜で開催される「よこはま国際フォーラム」に、FAO 日本事務所が参加します。このフォーラムでは、横浜および周辺地域に拠点を置く NGO や NPO、学校、国際機関などが国際協力・国際交流・多文化共生に関する講座やワークショップなどを行います。松田祐吾 FAO 日本事務所副代表が「食料価格高騰の原因と FAO の取り組み」について話す予定です。

日時 : 2月11日(祝・土) 12:00~12:50
場所 : JICA 横浜 横浜市中区新港 2-3-1 (赤レンガ倉庫/ワールドポーターズより徒歩 5分)
参加費 : 500円 (高校生以下無料。別途資料代などがかかる講座もあります)
主催 : よこはま国際フォーラム 2012 プロジェクト

詳細はこちら(JICA 横浜イベント情報)

<http://www.jica.go.jp/yokohama/event/index.html#a0211-01>

4. FAO 本部の広報担当職員の連載について

FAO ローマ本部の広報担当職員が、「Advertimes (アドバタイムズ)」で連載をスタートしました。バックナンバーは以下からご覧いただけます。

ローマで働く駆け出し国連職員の日常

http://www.advertimes.com/author/yamashita_anika/

5. プレスリリース

(1月24日 ポルト・アレグレ/ローマ)協同組合は飢餓との闘いの中心
～2012年国際協同組合理年～

<http://www.fao.or.jp/detail/article/757.html>

(1月16日 ローマ)気候変動対応型農業を促進するための FAO-EC プロジェクト
～マラウイ、ベトナム、ザンビアが共同事業により裨益するだろう～

<http://www.fao.or.jp/detail/article/754.html>

(1月12日 ローマ)FAO 食料価格指数は急落して前年を終えた
～しかし、昨年全体としては過去最高を記録～

<http://www.fao.or.jp/detail/article/753.html>

(1月3日 ローマ)新たな FAO 事務局長が世界的な飢餓の撲滅に取り組む
～最貧国への支援を拡大～

<http://www.fao.or.jp/detail/article/752.html>

6. 日本語出版物のご案内

『世界食料農業白書 2010-11 年報告(日本語版)』を発行しました(2012年1月発行)

<http://www.fao.or.jp/detail/article/761.html>

7. FAO 本部発信情報の紹介

FAO は世界の飢餓や食料・農業等に関し、ウェブサイトで以下のようなレポートや各種情報を提供しています。

World Livestock 2011(再掲)

世界の畜産 2011 年報告(12 月 16 日発表)

<http://www.fao.org/docrep/014/i2373e/i2373e00.htm>

Corruption in the land sector Working Paper(再掲)

土地分野の汚職に関する作業報告書(12 月 12 日発表)

<http://www.fao.org/docrep/014/am943e/am943e00.pdf>

The State of the World's Land and Water Resources for Food and Agriculture(再掲)

食料と農業のための世界の土地・水資源白書(SOLAW)(2011 年 11 月初刊)

<http://www.fao.org/nr/solaw/solaw-home/en/>

“Energy-Smart” Food for People and Climate, Issue Paper(PDF)(再掲)

人々と気候のための「エネルギー・スマート」な農業に関する報告書(11 月 29 日発表)

<http://www.fao.org/docrep/014/i2454e/i2454e00.pdf>

Special Report – FAO/WFP Crop and Food Security Assessment Mission to the Democratic People's Republic of Korea (再掲)

特別報告書－朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)への

FAO/WFP 作物・食料安全保障評価ミッション(11 月 25 日発表)

<http://www.fao.org/docrep/014/a1982e/a1982e00.htm>

Southeast Asia Flood Update(再掲)

東南アジアの洪水に関する最新情報(PDF)(10月21日更新)

<http://www.fao.org/giews/english/shortnews/seasia21102011.pdf>

FAO 本部 アフリカの角における危機 特設ページ(随時更新)

<http://www.fao.org/crisis/horn-africa/emergency-meeting-aug-2011/en/>

Emergency Prevention Programme for Transboundary Animal Diseases

「越境性動植物病虫害緊急予防システム(EMPRES)」

<http://www.fao.org/foodchain/prevention-and-early-warning/en/>

GIEWS Country Briefs

「世界食料農業情報早期警報システム(GIEWS)国別概要」(随時更新)

<http://www.fao.org/giews/countrybrief/index.jsp>

Desert Locust situation update

「砂漠バッタ最新情報」(2012 年 1 月 3 日更新)

<http://www.fao.org/ag/locusts/en/info/info/index.html>

Avian Flue「鳥インフルエンザ」(随時更新)

<http://www.fao.org/avianflu/en/index.html>

Global food price monitor

「世界の食料価格モニター」(最新版は 2011 年 12 月)

<http://www.fao.org/giews/english/gfpm/index.htm>

Crop Prospects and Food Situation

「穀物見通しと食料事情」(最新版は 2011 年 12 月)

<http://www.fao.org/giews/english/cpfs/index.htm>

Asia Pacific Food Situation Update (最新版は 2012 年 1 月)

<http://www.fao.org/docrep/015/an016e/an016e00.pdf>

FAO Cereal Supply and Demand Brief
「FAO 穀物需要と穀物供給の概況」(2011年12月8日更新)
<http://www.fao.org/worldfoodsituation/wfs-home/csdb/en/>

Rice Market Monitor
「コメ市場モニター」(最新版は2012年1月)
<http://www.fao.org/economic/est/publications/rice-publications/rice-market-monitor-rmm/en/>

Policy Support for Agricultural Investment and Food Security
「農業投資と食料安全保障への政策支援」
<http://www.fao.org/tc/policy-support/investment-policy/en/>

8. テレフード募金へのご協力をお願い

世界で9億人以上の人々の食料が不足しています(2010年時点)。FAOのテレフードプロジェクトは、世界中で食料不足の人々が必要な食べ物を生産または購入することを手助けしています。あなたの善意が9億人以上の栄養不足の人々を直接支援します。

郵便局の以下口座へ

FAO 飢餓撲滅草の根募金 00140-1-29732

- ※ 振替手数料無料(窓口でお伝えください)。
- ※ 寄付金として取り扱われる場合は、(社)国際農林業協働協会が特定公益増進法人としての認定を受けているため、法人税・所得税に対して免税措置が適用されます。

-
- * FAO 日本事務所メールニュースをお読み頂き、ありがとうございます。
 - * このメールニュースは転送自由です。
 - * 新たに購読をご希望される方は、FAO-Japan-Info@fao.orgまでご連絡ください。
 - * 配信停止を希望される方は、お手数ですが、FAO-Japan-Info@fao.orgまでご連絡ください。
 - * 現在は不定期で配信しておりますが、今後は更に充実させていく予定です。
-

国連食糧農業機関(FAO)日本事務所
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
パシフィック横浜 横浜国際協力センター5階
TEL: 045-222-1101、FAX:045-222-1103
Eメール:FAO-Japan-Info@fao.org
ウェブサイト:<http://www.fao.or.jp/>
本部ウェブサイト:<http://www.fao.org>